

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026126	男性	10歳代	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間いれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。
2	B-06026130	男性	10歳代	50mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切つて、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。
3	B-06026296	女性	10歳代	150mg	塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸	発疹	不明	インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。翌日夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。その翌日起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。
4	B-06026420	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言(「大きい石がのっている」)あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。
5	B-06026444	男性	10歳代	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気づき、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。
6	B-06026540	男性	10歳代	150mg		錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。
7	B-06026629	女性	30歳代	150mg	スルピリン・アミノプロピロン 配合剤 塩酸リンコマイシン	意識消失 健忘 脱毛症	回復 回復 軽快	リン酸オセルタミビル服用3時間後、夜目が覚めて気がついたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。
8	B-06026630	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。 (4月4日安全対策調査会資料5-2、3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.118に同じ)

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
9	B-06026663	女性	30歳代	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム	毒物誘発脳症	軽快 軽快	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。 鳥の姿がみえるなどの幻視もあったが夫に止められ事なきを得た。
10	B-06026707	男性	40歳代	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チペピジン 塩酸エピナスチン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。
11	B-06026847	男性	40歳代	150mg		自殺企図	未回復	1日分処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。
12	B-06026848	女性	10歳代	75mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	自殺企図	未回復	本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。処方5日目(3月23日)朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。 微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.12に同じ)
13	B-07000057	男性	10歳未満	30mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用30分後、母親が目を離れた間に道路を全速力で走っており、家につれて帰った後はベランダの柵を越えようとしていた。 翌日、異常行動回復。
14	B-07000058	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.38に同じ)
15	B-07000063	男性	10歳代	150mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
16	B-07000065	女性	10歳代	75mg	臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。
17	B-07000066	男性	10歳代	75mg	クラリスロマイシン プラナルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38~39℃台の発熱が続いていた。 夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5~10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。
18	B-07000076	男性	50歳代	150mg	アセトアミノフェン ジアゼパム	異常行動 譫妄	不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。 高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとし看護師に制止されるが暴れまくる。 後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。 服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。腎不全の疑いもあり。異常行動はジアゼパムで鎮静。
19	B-07000077	男性	小児	150mg	フェンジゾ酸クロベラスチン 塩酸アンプロキソール イブプロフェン	異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 3.5時間後の深夜、突然起きだし、外に出る。父が追いかけて連れ戻した。
20	B-07000078	男性	10歳代	150mg	フマル酸エメダステン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとこのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。
21	B-07000086	女性	10歳未満	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさげび部屋を走り回るためおさえる。5~6分続く。 翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5~6分続く。 その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
22	B-07000087	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。
23	B-07000097	男性	10歳未満	75mg		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。
24	B-07000102	不明	10歳代	不明	アセトアミノフェン	浮動性めまい 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。服用3時間後、言動がおかしくなり、階段より転落し、上肢痙攣がみられた。救急車で受診するも、意識レベル回復し、画像上も異常所見なし。
25	B-07000106	男性	10歳未満	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39~40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。
26	B-07000108	女性	10歳代	75mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあげて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.73に同じ)
27	B-07000111	男性	10歳代	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温:38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
28	B-07000121	女性	10歳代	150mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 臭化水素酸デキストロメル ファン	異常行動	回復	早期、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.121に同じ)
29	B-07000128	女性	10歳未満	33mg		異常行動	記載無し	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動(急にかけだし意識消失して眼が上転し転倒)。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになってたおれた。
30	B-07000130	男性	10歳代	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セチリジン ヒベンズ酸チベピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。熱いと言い、ベランダに出ようとした。異常行動発現。異常行動回復。
31	B-07000131	女性	10歳代	65mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメル ファン	多幸気分 妄想 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中にガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。
32	B-07000153	男性	10歳代	150mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキソール エバステン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2～3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのでうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。
33	B-07000156	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。
34	B-07000162	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。異常行動(飛び降り)発現。投与5日後、本剤投与終了。1ヵ月半後、回復。(4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.110に同じ)

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
35	B-07000163	男性	10歳代	100mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン ブドウ糖 塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル	異常行動	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。
36	B-07000166	女性	10歳代	60mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビルを処方され、同日夕方、1回内服するが症状なし。翌日朝、本剤内服。その2時間半後、体が熱い症状訴える。その後母親が目を放した際に一人で靴を履き玄関を出ようとしていた。患児の姉が気付き止めた為大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱はまだ40℃ほどであった。本剤投与中止。同日、異常行動回復。
37	B-07000198	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。
38	B-07000206	男性	10歳代	75mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシピド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。
39	B-07000209	男性	青少年	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。
40	B-07000215	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、二階へかけ上がる等の異常行動発現。
41	B-07000218	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
42	B-07000240	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。
43	B-07000244	女性	40歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加) (2-2)	錯乱状態	不明	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、朝から何度も外出しようとして家族に連れ戻される。午後より、訳のわからないことを言いはじめる。投与5日目、錯乱状態。
44	B-07000259	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。
45	B-07000260	女性	10歳代	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた(過去には夜に一人で外をふらつく)。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。
46	B-07000261	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありポーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。
47	B-07000262	女性	10歳未満	42.6mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。
48	B-07000264	男性	50歳代	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム ・L-levodopa	異常行動	不明	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要
49	B-07000272	男性	10歳代	120mg	塩酸エブラジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。
50	B-07000274	男性	10歳代	116mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39°Cの発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルファン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でささえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。
51	B-07000279	男性	10歳未満	81mg		異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。
52	B-07000283	男性	10歳代	75mg		譫妄 意識レベルの低下	回復 回復	発熱39°C。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不穏動作(手をバタバタさせたり起き上がろうとしたり、物に話すような動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8°Cに低下し、回復。
53	B-07000284	男性	10歳代	150mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。
54	B-07000286	男性	10歳未満	132mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン フマル酸ケトチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6~7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返した。4回目の服用中止。症状全て回復。

異常な行動が記録されている事例(その2)(平成19年3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
55	B-07000288	男性	10歳未満	168mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5~6時間後、部屋を意味無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。
56	B-07000306	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(39度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼを走っていた。その後、国道に寝ていたが、車輦が気づき、事故に至らなかった。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。
57	B-07000403	女性	小児	150mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。
58	B-07000412		10歳代	138mg		異常行動	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (4月4日安全対策調査会資料には、症例概要は掲載していないものの、件数は計上していた平成18年7年の事例)
59	B-07001302	女性	10歳代	75mg		痙攣	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	B-06026126	○
2	B-06026130	○
3	B-06026296	不明
4	B-06026420	○
5	B-06026444	○
6	B-06026540	不明
7	B-06026629	不明
8	B-06026630	○
9	B-06026663	○
10	B-06026707	○
11	B-06026847	不明
12	B-06026848	○
13	B-07000057	不明
14	B-07000058	不明
15	B-07000063	不明
16	B-07000065	○
17	B-07000066	不明
18	B-07000076	○
19	B-07000077	不明
20	B-07000078	不明
21	B-07000086	○
22	B-07000087	○
23	B-07000097	不明
24	B-07000102	不明
25	B-07000106	○
26	B-07000108	○
27	B-07000111	○
28	B-07000121	○
29	B-07000128	○
30	B-07000130	○
31	B-07000131	○
32	B-07000153	○
33	B-07000156	不明
34	B-07000162	不明
35	B-07000163	○
36	B-07000166	不明
37	B-07000198	○
38	B-07000206	○
39	B-07000209	不明
40	B-07000215	不明
41	B-07000218	不明
42	B-07000240	不明
43	B-07000244	○
44	B-07000259	○
45	B-07000260	不明
46	B-07000261	○
47	B-07000262	○
48	B-07000264	×
49	B-07000272	○
50	B-07000274	○
51	B-07000279	○
52	B-07000283	○
53	B-07000284	○
54	B-07000286	○
55	B-07000288	不明
56	B-07000306	○
57	B-07000403	不明
58	B-07000412	○
59	B-07001302	不明

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの
35例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの
1例

不明：検査が実施されていないもの等
23例